

リレーメッセージ第6回

吉添圭介氏（北高 39 期/昭和 63 年卒）

吉添圭介と申します。吉添理恵子の「兄に頼めばいいや。」という安易な指名により、令和元年のオオトリを務めることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。



「この HP を私の拙文で汚してよいのだろうか。」と恐れおののきながら、参考のために過去のリレーメッセージを見ると、・・・4 回目までは、27 期（昭和 51 年卒）の先輩方の格調高いメッセージ。自分には無理だ、と逃げ出したい気分。でも、前回の我が妹のメッセージは、・・・申し訳程度に高校時代の思い出に触れつつも、終始一貫、自分が出版社で編集した本の宣伝。なんという格調の低さ！妹よ、ハードルを下げてくれてありがとう！

と言っても、私には、皆様が関心のありそうな話題も、宣伝する材料さえもなく、とりとめのないメッセージになりそうです。ご容赦を。

今日はクリスマス。我が家でも、小学一年生の息子の枕元にはサンタさんからのプレゼントが置いてありました。実は、昨日の晩、息子に「パパ、サンタさんが来るのを見たいから、スマホのビデオをここにセットして、一晩中この部屋の入口が映るようにしておいて。」と頼まれ、対処に困っていました。作戦を考え、今朝、「サンタさんって人に見られるのが嫌だから、一晩中起きている人のところや監視カメラのあるところには来ないんだって。一晩中起きて待っていてプレゼントがもらえなかった子もいるんだって。このことを思い出してよかったよ。もし撮ってたら、来てもらえないところだった。」と説明し、喜んで納得してもらえました。「猿蟹合戦」（動物はもちろん、牛の糞や白までもが大活躍するお話）でさえ、「これって本当の話なのかなあ。」とまだ半分は信じる気持ちのあるお年頃です。しばらくは真実を隠しておきたいものです。

そんな息子が、来年早々、剣道教室に見学に行きます。何を隠そう、私は、高校時代は剣道部員。その後、大学でも剣道部に入り、社会人になっても細々とですが剣道を続け、質実剛健、文武不岐を合言葉に、彼女いない歴も長期に渡る硬派な人生を過ごしてきました。以前は剣道を勧めても嫌がっていた息子が行く気になったきっかけは「みーちゃん（幼稚園時代の美人同級生）が剣道を始めたいんだって。」の一言です。この軟派ぶり、パパの硬派ぶりからは考えられません。

息子のお友達の半分ぐらいはサッカー教室に行っています。ママも昔は「サッカーをやらせたい派」でしたが、今のママは、「剣道をやらせたい派」になっています。息子が（きっかけはともかく）剣道に興味を示していることを喜んでいます。今年「ONE TEAM」で有名になったラグビーの紳士ぶりに比べ、サッカーには、「オレがオレが、という自己中心的な性格が求められる。審判が見ていないと

ころで悪いことをする。サポーター同士が殴り合い、殺し合う。」というイメージがあります（サッカー部の方、申し訳ありません。若干誇張した悪いイメージです。もちろん、私のイメージではありません。高校時代のサッカー部の友人はみないい奴です。）。剣道の場合は、「一本」を取ってガッツポーズをするとその「一本」を取り消されるという礼儀に厳しい武道です。柔道のようにオリンピック種目になると、そういう良い面が失われるため、日本の剣道界がオリンピック種目になるのを拒んでいると聞いています（「オリンピック種目になれないからそう言っているだけだろう。」などと、からかわれることもあります。）。こういう話をしながら「サッカーより剣道がよいかもよ。」とママを洗脳して来たのが、最近効いてきたようです。

最後に、仕事の話も少し。私は、今、消防職員が救急救命士の資格を取るための研修所に勤務をしています。建築物の不燃化や防火意識の高まりなどにより火事は減少していますが、救急搬送は高齢化などで増加し続けています。お正月は餅をのどに詰まらせて救急車で運ばれないようご注意ください。

（救急振興財団審議役、救急救命東京研修所副所長）

2019 年 12 月 25 日掲載